

鹿児島流

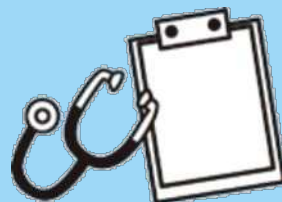
熱いハートの医師 育てます

【鹿児島市】納涼観光船 写真協力：鹿児島県PR・観光戦略部観光課

私の臨床研修医時代

鹿屋医療センター 内科部長 かめこう 亀甲 まさひろ 真弘

私の研修医の始まりは昭和63年からで、今思い返すといわゆる日本経済のバブル期でした。鹿児島大学病院で始まり鹿児島市立病院、肝付町立病院で研修しました。当時の諸先輩方から質問できるのも2年間だけだからと言われて、その教え通りよく質問していたのを思い出しました。現在では、情報は最新のものが比較的容易に調べることができ、プレゼンテーションも研修医の先生方も非常に上手にされていると感じます。以前は今と違ってアナログの時代で、カンファレンスの資料は手書きと文献の切り貼りではぼ徹夜をして一人で作成していました。早いもので既に臨床医となって30年が過ぎていますが、循環器疾患の治療法は研修医の時代の想像をはるかに超えて進歩しています。処置や手技も複雑でリスクも格段に上がっています。現在は診療ガイドラインも整備されていますが研修医の先生方に言いたいことは、“初動の大切さと、思い込みをしない”ということです。この数年間で身に着けた知識や技術は決して忘れることはないと思うので、研修医の皆さんには頑張ってもらいたいです。



指導医の思い出



あさと ゆうじ
朝戸 裕二

勤務先 大隅鹿屋病院

出身校 熊本マリスト学園→宮崎大学

レジデント1年目にとって5年目のチーフレジデントは何でも出来るスーパーマンの様な存在です。自分がチーフレジデントになった時には、先輩の様に出来るのかと不安に思ったものでした。先日、レジデント終了後27年ぶりにあった後輩レジデントに「先生はいつまでたっても私にとっては神様のような存在です。」と言われ、お世辞でも嬉しく思いました。研修医の指導は骨の折れる仕事ですが、研修医の初めてに立ち会えるという事は幸せなことでもあります。

また、歳をとってくると若い研修医からパワーをもらっていると感じることも多々あります。研修医の皆さんはギブ&テイクだと考え、なんでも指導医に相談すれば良いと思いました。

出身地：大島郡沖永良部諸島



うちやま のりあき
内山 典明

勤務先 鹿児島医療センター

出身校 甲南高校→鹿児島大学

40年前は卒後即入局の時代で、部活の先輩の勧めで割に安易に入局を決めました。放射線科では大学病院に腹部CTが導入された直後で、新入医局員はCTのスイッチ係か、透視装置のカセット交換係でした。血管造影の動脈穿刺や胃透視などを自由に研修させて貰って感激でした。

先輩からは「最初の5年間の勉強、努力が君の医者としての一生を決定するのだ」とアドバイスを頂いて、早朝から深夜帰るまで、また多い宿日直に文句も言わず勉強したような気がします。その後はあまり真面目では無かったかもしれないが、若いときの頑張りが今の仕事の基礎になっていると感じます。青春時代はあっという間というのが、年老いてわかりますね。

出身地：薩摩郡



おかどめ ただし
岡留 格

勤務先 南風病院

出身校 鶴丸高校→鹿児島大学

鹿児島大学旧第3内科に入局して研修をスタートしました。関連病院である肝属郡医師会立病院での3ヶ月間の思い出が強烈でした。「ここに座れ！」と内科医局の椅子に座らされた私は指導医のボスから「俺は、お前の実力は何も知らないし、当然全く信頼もしていない。最初の1ヶ月間はここに寝泊まりしろ。働き具合を見てやる。」と宣告されました。“エライ所に来てしまった”とルンルン気分は一気にへこみました。昼夜を問わず救急車を受け入れる救急外来は戦場で、常にICUは満床でした。一通りの救急手技はここで教わりました。今では懐かしい思い出です。

出身地：鹿児島市



おがた ひかり
緒方 光

勤務先 鹿児島徳洲会病院

出身校 熊本マリスト学園高校→熊本大学

私は卒業後麻酔科医を選択しました。内科志望でしたが麻酔科の教授が“将来内科をやるならまず麻酔科にきなさい。蘇生をはじめ病態に迅速に対応できるようになるし、ただの内科医より視野が広がる”と言われ、すぐ麻酔科入局を決めました。

ところが、麻酔科は麻酔以外に魅力的なペインクリニック、ICUがあります。これは内科より面白い科だなど思い、そのため以後長きにわたって麻酔科にお世話になることになりました。また、小児麻酔に興味があり神奈川こども医療センターには14年間勤務しました。現在内科を主業務としていますが、私を運命づけた故麻酔科教授の言葉は忘れられないものとなりました。

出身地：熊本県



研修医の声



出身地：日置市

いわた ひろき
岩田 大輝

研修先》今村総合病院

出身校》鶴丸高校→鹿児島大学

私の研修は総合内科から始まりました。総合内科では、基本的に内科的疾患の患者はwalk in、救急車問わずどんな患者でも受け入れているので、1秒を争うような救急患者の対応から、診断がつけられず頭を悩ます疾患まで本当に幅広い疾患をみることができます。

そんな中で、研修医に与えられる自由の大きさと、それを可能にする、患者さん思いで尊敬できる多くの上級医の先生方による絶え間ないフィードバック・ご指導があります。医師人生のスタートとして、ここでの研修の毎日がかけがえのないものだと感じています。

苦楽を分かち合うことのできる素晴らしい同期たちとともに、日々学び、成長していきたいと思っています。



出身地：鹿児島市

いino かずあき
飯尾 一陽

研修先》鹿児島市立病院

出身校》鶴丸高校→産業医科大学

研修医となり早くも一年が過ぎました。小さい頃から夢として掲げていた医者によくすることが出来、最初は期待と不安でいっぱいでした。最初に救急科をローテーションした時は、右も左もわからず何も出来ないことがつらく、焦りを感じました。それから多くの症例に触れ、一回一回の手技に向き合い、各科の先生方から教えることで、少しずつ経験・知識を得ることが出来ました。一人前の医師になるにはまだまだ時間がかかりそうですが、患者さん一人一人に真剣に向き合うことが一番大事なことだと今感じています。



出身地：枕崎市

おつじ あおい
尾辻 葵

研修先》鹿児島大学病院

出身校》鹿児島修学館高校→川崎医科大学

鹿児島大学病院桜島プログラムで研修を行っており、これまでに鹿児島大学病院、鹿児島市医師会病院で研修を行いました。県外の大学出身ということもあり、初めは慣れない環境の中で不安も多く、気が滅入る時期もありました。しかし、指導医の先生方の熱いご指導や優しい医療スタッフの方々のおかげで、次第に知識やできる手技が増え、患者さんや家族との接し方など学ぶことができ、少しずつ自信がついてきました。また、同期にも恵まれ、切磋琢磨しながらよい環境で研修生活を送ることができています。様々な診療科で研修できる貴重な期間の中で、多くの患者さんに携わり、悪戦苦闘しながら自分のすすむ道を意識して研修していきたいと思っています。



出身地：岡山県

たにもと たかひこ
谷本 隆彦

研修先》総合病院鹿児島生協病院

出身校》倉敷青陵高等学校→鹿児島大学

初期研修が始まり1年が過ぎました。1年目は1か月から2か月単位で異なる診療科をローテーションし、どの科でもそれぞれ違った視点で基礎を学ぶことができました。2年目に入ってから協力病院での研修が多くなり、普段とは違った環境で刺激の多い研修生活を送っています。当直研修は1年目の後半からスタートしました。初めて見る症例では戸惑うことも多いですが、自分で診断から治療までを考える経験を積むことができる非常に良い研修だと感じます。初期研修は今しか学べないことも多く、また今後の進路を左右する重要な期間です。これからも一日一日を大切に目の前の患者さんに向き合っていきたいと思っています。

トピックス



レジデントフェスティバル鹿児島会場、福岡会場に出展しました。

協議会では、5月27日(日)に鹿児島(かごしま県民交流センター)で、6月10日に福岡(FFBホール)で開催されたレジデントフェスティバルに「オールかごしま」としてブースを出展しました。

当日は、県内の指導医や研修医がスタッフとして参加し、訪問した医学生に対し、基幹型臨床研修病院の臨床研修プログラムや鹿児島での研修生活など、多岐にわたり説明を行いました。

また、福岡でのレジデントフェスティバルの前日には出前セミナーも行いました。参加医学生は、指導医・研修医の身近な話をざっくばらんに聞くことができたようでした。出前セミナーをまだ経験されていない方は、お一人でも、ご友人と一緒にでもかまいませんので、ぜひ当協議会にご連絡ください。時期を問わず開催しております。お気軽にご相談ください。



鹿児島での臨床研修の魅力を伝えます



ブースが満席で座れない状況の中、立ったまま話を聞いてくれる医学生もいました



第2回臨床研修病院合同説明会を開催します！

協議会では、医学部4・5年生を対象に、第2回臨床研修病院合同説明会を8月21(火)に開催します。県内全ての基幹型臨床研修病院が集まりますので、1日で県内の臨床研修について知ることのできるチャンスです。

説明会では、全体会場で研修医が「どのようにして研修先を決めたか」などの発表やトークセッションを行った後、各病院のブースごとに研修医や指導医が直接研修プログラムや病院について説明します。

また、説明会終了後は情報交換会と題しまして、軽食をとりながらざっくばらんに研修医や指導医と話すことができます。

説明会への参加は予約不要ですので、気軽に参加してください。県内外問わず、たくさん学生の参加をお待ちしております。



病院の話を一日で聞くことができます



ブースでの説明だけでなく、軽食をとりながらざっくばらんに話せます



イベントライブラリ ♪♪協議会のイベント情報♪♪

現在、協議会で予定しているイベントの開催・参加情報は次のとおりです。詳細は、事務局までお問い合わせください。多数のご参加をお待ちしています♪

○第2回臨床研修病院合同説明会(日時:8月21日(火)15:00~18:30、場所:鹿児島県医師会館)

○出前セミナー随時開催中(鹿児島の臨床研修の魅力や研修医の身近な話まで聞くことができます)

鹿児島県初期臨床研修連絡協議会 (事務局:鹿児島県庁 暮らし保健福祉部 医療人材確保対策室内)

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 e-mail iryokaikaku-ishikakuho@pref.kagoshima.lg.jp

TEL 099-286-2581 FAX 099-286-5552

<http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/doctorbank/kyougikai/index.html>